

令和 5 年度 定時社員総会

日 時 令和 5 年 5 月 2 9 日（火）午後 2 時

場 所 サイプレスガーデンホテル
名古屋市熱田区金山町一丁目 9 番 8 号
Tel 052-679-1661 / Fax 052-679-1663

一般社団法人愛知県環境測定分析協会
〒460-0022 名古屋市中区金山一丁目 2 番 4 号
アイディエリアビル 405
Tel 052-321-3803 / Fax 052-684-4238

表 彰 式 次 第

- 1 開 式
- 2 愛知県知事表彰（計量関係功労者）
- 3 令和5年度正会員従業員表彰
- 4 令和5年度環境に関する喚起標語入選者表彰（特選受賞者）
- 5 第6回写真コンテスト入選者表彰（各部門の金賞受賞者）
- 6 受賞者代表謝辞
- 7 閉 式

愛知県知事表彰受賞者（計量関係功労者）

氏 名	所 属 事 業 所
池 田 寛	株式会社ユニケミー
小 川 光 寛	一般社団法人愛知県薬剤師会

（敬称略：五十音順）

令和 5 年度正会員従業員表彰受賞者（ 9 名）

氏 名	所 属 事 業 所
畦 元 由理子	一般財団法人東海技術センター
池 田 賢 治	株式会社大同分析リサーチ
刑 部 薫 子	株式会社ユニケミー
木 村 成 宏	株式会社環境公害センター
黒 太 茂	一般社団法人愛知県薬剤師会
小 林 央 知	株式会社愛研
多 田 香	一般社団法人愛知県薬剤師会
早 野 健 作	株式会社イズミテック
真 野 佳 典	株式会社環境科学研究所

（敬称略：五十音順）

令和５年度環境に関する喚起標語入選者

「環境計量における信頼性の確保」をテーマとして喚起標語を募集したところ、
１４３作品の応募があった。

区分	標 語	氏 名	所 属
特選	小さな変化は 大きな異常の第一歩 見過ごすことなく 正しい計量	松井 さやか	(株)環境科学研究所
入選	気をつけて！「少し」で損なう 信頼性	出原 聡一	(株)環境科学研究所
入選	いつもの手順で 正しく計量 品質守る 一目盛	小田 真也	(株)東海分析化学研究所
入選	信頼は 技術と誠実積み重ね 未来に繋ぐ環境計量	笥 紗南	日本空調サービス(株)
入選	「この値？」疑う心がミス防止、正しい計量で信頼確保	加藤 直孝	(株)テクノ中部
入選	小さなことでも手抜きなし 基本順守で確かな信頼	小久保 徳久	(株)環境科学研究所
入選	一人ひとりが意識を高め 誇れる品質 得られる信頼	中島 徹	(株)イズミテック
入選	手順守って確かな測定 社会を支える環境計量	松原 武馬	(株)テクノ中部
入選	日々の管理を積み重ね 信頼と精度で築く環境計量	山本 敦恵	(一財)東海技術センター
入選	続けよう正しい手順 努めよう精度向上 みんなで築く確かな計量	余語 みどり	(株)環境科学研究所
入選	正しい手順で精度の確保 正しい結果で導く信頼	横井 文子	(株)アイシン・ロジテクサービス

(入選は、氏名(敬称略)の５０音順)

第6回写真コンテスト入選者

「四季部門」及び「測定・分析部門」について作品を募集したところ、四季部門に39作品、測定・分析部門に18作品の応募があった。

<四季部門>

区分	題 名	氏 名	所 属
金賞	秋の気配	和賀登 基文	(株) 環境科学研究所
銀賞	大地の力	井ノ口 綾夏	(一財) 東海技術センター
入選	ラベンダーと隠れハチ	金子 奈央	(一財) 東海技術センター
入選	コスモスといわし雲	葛島 美穂	(株) 環境科学研究所
入選	candle night	酒井 涼風	(株) ユニケミー

(入選は、氏名(敬称略)の50音順)

<測定・分析部門>

区分	題 名	氏 名	所 属
金賞	残留塩素	水野 由教	(株) 環境公害センター
銀賞	コロニー出現	大橋 正美	(株) 愛研
入選	ヘルメットよし、 腕章よし、反射ベストよし、 カラーコーンよし、ご安全に!	蛭澤 宏章	(一財) 東海技術センター
入選	鮮やかなブルーで 分析室に彩を添える ソックスレー抽出装置	大脇 千泉	(一財) 東海技術センター
入選	ガスメーター点検	各務 直之	三協熱研(株)

(入選は、氏名(敬称略)の50音順)

令和 5 年度 定時社員総会次第

1 開 会

2 会長挨拶

3 来賓祝辞

4 議事録署名人の選出

5 議 事

- (1) 第 1 号議案 令和 4 年度事業報告について
- (2) 第 2 号議案 令和 4 年度収支決算について
- (3) 第 3 号議案 令和 5 ～ 6 年度役員の選任について
- (4) 第 1 号報告 令和 5 年度事業計画について
- (5) 第 2 号報告 令和 5 年度収支予算について
- (6) 第 3 号報告 愛環協の組織体制の見直しについて

6 その他

7 閉 会

8 特別講演

演題 はじめての G X

講師 東京海上日動火災保険株式会社

マーケット戦略部 G X 室兼地域連携室 古林功太郎氏

9 懇親会

第 1 号議案 令和 4 年度事業報告について

「オンライン形式」など従来の「会場・対面形式」以外で開催した事業については、本文中にその旨（**オンライン形式**、**書面開催**等）を記載しました。

1 正会員数 64 社（令和 4 年度末、年度当初は 64 社）

2 賛助会員数 18 社（令和 4 年度末、年度当初は 18 社）

3 令和 4 年度定時社員総会

開催日・場所：令和 4 年 5 月 17 日（火）・サイプレスガーデンホテル

内 容：各種表彰式（計量関係功労者、正会員従業員、環境喚起標語特選作品）

令和 3 年度事業報告・収支決算の承認

特別講演 エサキヨシノリ氏

（情熱の学校 代表&情熱ブランディング・プロデューサー）

『個性を活かし、選ばれる企業になるための「情熱ブランディング」

～御社の中にある「オリジナルな答え」と出会うためのヒント～』

4 理事会

開催日	議 題
第 1 回理事会 4. 4. 22（金） （日本特殊陶業市民会館（以下「市民会館」）第 2 会議室）	1 前回（令和 3 年度第 6 回）理事会以降の事業報告 2 各委員会の活動状況報告（景況調査結果を含む） 3 令和 4 年度定時社員総会 4 令和 4 年度行事予定 5 令和 3 年度事業報告（案） 6 令和 3 年度収支決算（案） 7 令和 4 年度「正会員従業員表彰」
第 2 回理事会 4. 7. 8（金） （市民会館第 2 会議室）	1 前回理事会以降の事業報告 2 令和 4 年度定時社員総会の結果報告 3 各委員会の活動状況報告（今後の活動計画も含む） 4 第 6 回愛環協写真コンテスト 5 第 1 回ブロック会議について 6 「高校生ものづくりコンテスト東海大会」への審査員派遣 7 日環協・環境セミナー全国大会 in 京都での技術発表
第 3 回理事会 4. 10. 20（金） （市民会館第 2 会議室）	1 前回理事会以降の事業報告 2 各委員会の活動状況報告（今後の活動計画も含む） 3 令和 4 年度収支決算（中間報告） 4 事務職員の労働条件の変更 5 日環協・環境セミナー全国大会 in 京都 開催結果報告 6 令和 4 年度のブロック会議について

第4回理事会 4.12.21（火） （市民会館特別会議室）	1 前回理事会以降の事業報告 2 各委員会の活動状況報告（今後の活動計画も含む） 3 「環境に関する喚起標語」の募集 4 令和4年度特別企画セミナーについて 5 「もりの学び舎」における環境啓発活動への協賛
第5回理事会 5.3.16（金） （市民会館第2会議室）	1 前回理事会以降の事業報告 2 各委員会の活動状況報告（今後の活動計画も含む） 3 令和5年度正会員従業員表彰 4 令和5年度事業計画（案）及び収支予算（案） 5 令和5・6年度の役員 6 令和5年度以降の愛環協の組織体制 7 愛知県知事表彰（計量関係功労者・環境保全関係功労者） 8 「環境に関する喚起標語」の選考 9 賛助会員の入会

5 委員会活動……委員会名の後の（ ）内は開催回数

(1) 総務委員会 （5回：**書面開催**）

- ア 令和4年度「正会員従業員表彰」の候補者を選定した。
- イ 令和4年度景況調査を実施した。
- ウ 令和5年度「環境に関する喚起標語」を募集して優秀作品を選定、理事会へ報告した。

(2) 企画・対外交流委員会 （3回）

- ア 施設見学会（名古屋市科学館）を企画・運営した。
- イ 社員総会後の特別講演、環境月間講演会の講師を選定するとともに、それらの開催時に協力した。

(3) 教育・研修委員会 （5回：原則**オンライン形式**、一部は**ハイブリッド形式**）

- ア 環境測定分析新任者研修会、精度管理研修会①（基礎統計コース）、精度管理研修会②（中堅実務コース）、環境計量士等研修会及びSOP研修会を企画し開催した。
- イ アのうち、環境測定分析新任者研修会及び精度管理研修会②については「オンライン形式」で、それ以外の研修会については「会場・対面形式」で開催した。

(4) 広報・ホームページ委員会 （広報WG＝4回、HPWG＝2回）

- ア 会報誌「あいかんきょう」第151、152、153、154号を編集・発行した。
- イ 令和2年度から開始した「あいかんきょう」への広告チラシ封入サービスを継続した（利用は3社と愛知県）。
- ウ 愛環協ホームページ（HP）を随時更新した。
- エ HPのリニューアルに向け、日環協との共同運営の検討など進め方を議論した。
- オ 第6回写真コンテストの作品を募集した。

- (5) 技術委員会 （3回：全体会議後に各WGを開催、この他に騒音・振動WGを2回開催）
- ア 第1回共同実験（水質）及び第2回共同実験（大気）を実施し、結果検討会をオンライン開催した。
- イ 第3回共同実験（振動）を実施した（結果検討会は令和5年度に開催する予定）。
- ウ ガスメーターの自主検査を2回実施した。
- (6) 災害緊急時対応委員会 （3回）
- ア 協定を締結している愛知県、豊橋市、豊田市、岡崎市及び一宮市と、大規模地震による災害を想定したアスベスト大気環境調査の訓練をそれぞれ実施した。
- イ 愛知県、県内市町村及び廃棄物関係団体が実施する災害廃棄物処理に関する図上演習や、愛知県が開催する災害廃棄物処理に関する研修会に参加した。
- ウ 「災害時相互応援協定」を締結している7県単（福島、埼玉、神奈川、横浜市、愛知、大阪、堺市の協議会）による「福島被災地視察」（11月）に参加するとともに、首都圏環境計量協議会連絡会主催の「2022年度 環境計量証明事業団体合同研修会」（8月にオンライン開催）に参加し、自治体との災害防止協定に関する活動内容等について意見交換を行った。

6 研修会等実施状況

研修会等の名称 (開催場所)	開催日 (参加者数)	演題及び講師(敬称略)
環境測定分析新任者研修会 オンライン形式	4.6.14(火) (33名)	1「環境計量の仕事とは」 (一財)東海技術センター 参与 菊谷 彰 2「精度よい測定のために」 ①サンプリングの基礎 ②分析技術－化学分析－ (株)テクノ中部 測定分析センター 測定グループ長 清水 久博
	4.6.15(水) (33名)	2「精度よい測定のために」 ③分析技術－機器分析－ ④検量線と標準物質 ⑤データの取扱 (株)環境科学研究所 品質保証部 技術支援室 室長 牧原 大 3「労働安全衛生」 (株)大同分析リサーチ 環境測定センター 環境専門部長 新谷 良英

環境月間講演会 オンライン形式	4. 6. 28 (火) (39名)	1 「あいちサーキュラーエコノミー推進プランについて」 愛知県環境局資源循環推進課 課長補佐 岩崎 光成 2 「地球温暖化の視点からSDGs社会を考える」 中部大学中部高等学術研究所 国際ESD・SDGsセンター 研究員 原理史
精度管理研修会① 【基礎統計コース】 (市民会館第2会議室)	4. 7. 21 (木) (12名)	1 「基本統計量」 (株)東海分析化学研究所 食品検査室 室長 夏目 訓良 2 「検定」 (株)ユニケミー ものづくり支援技術部 部長 今井 尚洋 3 「外れ値の検定」 (一社)愛知県薬剤師会 衛生試験部 水質検査課 課長 小川 光寛
精度管理研修会② 【中堅実務コース】 オンライン形式	4. 9. 21 (水) (11名)	1 「環境法令について」 (一財) 東海技術センター 参与 菊谷 彰 2 「環境分析及びサンプリングにおける精度管理」 (一社)愛知県薬剤師会 衛生試験部 水質検査課 課長 小川 光寛 3 「機器分析の精度管理」 (一財) 東海技術センター 調査分析事業部長 土屋 忍
	4. 9. 22 (木) (11名)	4 「不確かさの検出」 (株)環境科学研究所 品質保証部 技術支援室 室長 牧原 大 5 「数値の扱い方、下限、妥当性及び基本統計量」 (株)東海分析化学研究所 食品検査室 室長 夏目 訓良

		6「相関分析・回帰分析」 愛知県立岡崎工科高等学校 教諭 井上 満
環境計量士等研修会 (市民会館第1会議室)	4.11.25 (金) (29名)	1「最近の大気環境行政の動向について」 愛知県環境局環境政策部水大気環境課 担当課長 棚橋 勝樹 2「化管法（特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律）に基づく愛知県の取り組みについて」 愛知県環境局環境政策部環境活動推進課 主査 松山 純也 3「海洋マイクロプラスチックの流出抑制にむけて：現状理解と今後の課題」 国立研究開発法人国立環境研究所 資源循環領域 主幹研究員 鈴木 剛 4「新たな化学物質管理がはじまりますーすべての有害化学物質が対象にー」 (株)大同分析リサーチ 環境測定センター 環境専門部長 新谷 良英 5「技術講演（測定における校正用ガスの技術的・法的な安全性などについてとヘリウムの現状）」 日本エア・リキード合同会社 本社 スペシャリティガス事業部 水澤 芽衣 6「製品紹介（校正用ガスのご紹介）」 日本エア・リキード合同会社 本社 スペシャリティガス事業部 水澤 芽衣
第1回共同実験結果検討会 オンライン形式	4.12.6 (火) (24名)	「模擬排水中の全りん、ふっ素の分析」 (株)三進製作所 技術研究所 分析課 課長 松田 健次
SOP（標準作業手順書）研修会 (市民会館第2会議室)	5.1.31 (火) (16名)	1「SOPとは」 2 SOPのグループ作成演習 3 作成したSOPのグループ発表 (株)ユニケミー 取締役 中安 史隆

第2回共同実験結果検討会 オンライン形式	5. 2. 3 (金) (12名)	「排ガス中のふっ素化合物」 (株)イズミテック環境技術部 調査課 大気担当課長 内藤 茂
特別企画セミナー 中止	(5. 3. 24)	講師の都合により中止

7 広報活動

(1) 環境保全の必要性及び重要性を広報するとともに、関係機関が開催する行事に積極的に参加した。

(2) 会報誌「あいかんきょう」の発行

号	発行月日	主 な 記 事
151	4. 4. 20	委員会活動報告 「大気・臭気WG勉強会」開催報告 令和3年度景況調査結果報告 賛助会員紹介①② 環境・時の話題「核融合エネルギー」 令和4年度「環境に関する環境標語」入選作品・入選者紹介 事務局からのお知らせ
152	4. 7. 20	令和4年度定時社員総会報告 「特別企画セミナー」開催報告 委員会活動報告 賛助会員紹介 環境・時の話題「NMRによる脳のしくみの解明」 事務局からのお知らせ
153	4. 10. 20	委員会活動報告 「令和4年度環境月間講演会」開催報告 「環境測定分析新任者研修会」研修報告 精度管理研修会①（基礎統計コース）受講報告 環境・時の話題「海洋酸性化」 事務局からのお知らせ
154	5. 1. 1	年頭挨拶（会長、愛知県知事） 委員会活動報告 大規模地震災害を想定したアスベスト調査訓練 精度管理研修会②（中堅実務コース）受講報告 令和4年度「施設見学会」開催報告 「施設見学会」アンケート結果報告 環境・時の話題「大陸は海から生まれた！西ノ島の研究から見てきたこと～」 事務局からのお知らせ

(3) 情報提供

環境測定分析に関係して収集した情報を、情報提供を申し込んだ会員 28 社に随時送付した。

8 共同実験（クロスチェック）

日環協中部支部との共催事業として実施した。

令和 3 年度に実施を計画しながらも新型コロナウイルス感染症第 6 波に伴って中止となった振動関係の共同実験も含めて 3 回実施した。

	内 容	実 施 日	参加社数	うち県外
第 1 回共同実験 (水 質)	模擬排水中の全りん、ふっ素 の分析	4. 7. 12(火)	42社 (43口)	9社 (10口)
	結果検討会 オンライン形式	4. 12. 6(火)	24名	5名
第 2 回共同実験 (大 気)	排ガス中のふっ素化合物	4. 10. 28(金)	17社 (18口)	5社 (6口)
	結果検討会 オンライン形式	5. 2. 3(金)	12 名	3名
第 3 回共同実験 (振 動) ※	道路交通振動と地下鉄振動の 測定（周波数分析）及び解析	5. 2. 8(水)	9 名	4名
		5. 2. 9(木)	10 名	5名
	結果検討会	令和 5 年 5 月 3 0 日に開催予定		

※ 第 3 回共同実験は、会場内が密状態になることを避けるため、同じ内容を 2 回に分けて実施することにより、1 回あたりの参加者数を抑制した。

9 環境相談窓口の設置

県民からの分析機関の照会や環境に関する相談に対応した。

10 関係行政機関への協力

- (1) 愛環協が、愛知県、豊橋市、豊田市、岡崎市及び一宮市とそれぞれ締結している協定に基づき、大規模地震による災害を想定したアスベスト大気環境調査の訓練（11 月 8 日）に参加した。
- (2) 愛知県が N P O 法人「もりの学舎自然学校」との協働により、愛・地球博記念公園（モリコロパーク）で実施している「自然体験プログラム」（ゴールデンウィーク特別企画）に協賛した（令和 4 年 5 月 8 日：当初は 1 日に実施予定であったが、荒天のため 8 日に実施）。
- (3) 令和 4 年 5 月 29 日に愛知県立愛知総合工科高校で開催された「高校生ものづくりコンテスト（化学分析部門）」愛知県大会を後援するとともに、分析試料の提供及び表彰に協力した。

1.1 測定済証紙の斡旋

令和4年度には、次のとおり計 799 枚を斡旋した。

水 質	150 枚
排ガス	612 枚
騒 音	37 枚
計	799 枚

1.2 ガスメーター自主検査

機器管理基準に基づくガスメーターの自主検査を、(株)テクノ中部の協力により2回実施し、計 38 台の検査を実施した。

第1回	令和4年7月19日(火)～8月5日(金)	受検台数	21 台
第2回	令和5年1月23日(月)～2月10日(金)	受検台数	17 台
		計	38 台

1.3 愛知県知事表彰

計量関係功労者として、藤山法士氏((一社)愛知県薬剤師会)が、令和4年度定時社員総会において表彰された(環境保全関係功労者は、該当者なし)。

1.4 正会員従業員表彰

環境測定分析業務に7年以上勤続の正会員従業員9名を、令和4年度定時社員総会において表彰した。

受賞者(氏名の五十音順、敬称略)

氏 名	所 属 事 業 所
栗 木 聡	株式会社環境公害センター
近 藤 圭 介	株式会社イズミテック
坂 本 恵	株式会社ユニケミー
下 田 将 也	株式会社イズミテック
芹 田 千 春	株式会社ユニケミー
中 村 知 旦	一般社団法人愛知県薬剤師会
松 原 和 栄	一般財団法人東海技術センター
水 谷 俊 介	株式会社環境科学研究所
吉 口 欣 也	一般社団法人愛知県薬剤師会

1.5 令和5年度環境に係る喚起標語の募集及び活用

「環境計量における信頼性の確保」をテーマに喚起標語を募集したところ、16社から143作品の応募があり、この中から特選1作品及び入選10作品(10頁参照)を選出した。特選作品については、令和5年度の愛環協喚起標語としてポスターを作成し、会員に配付した。

16 ブロック会議

理事会審議事項の伝達、各会員の近況報告、その他関心事項など、会員相互の情報交換や意思疎通を図るとともに、協会事業の周知と協会に対する要望事項を聴取するため、5つのブロックごとに年2回開催することを原則としている。

しかし、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、令和2年度第1回（一部のブロックは元年度第2回）会議以降、対面形式での開催ができなくなり、2年度第2回会議は複数ブロック合同でオンライン開催、3年度はオンラインによる「会員交流会」を開催した。

令和4年度は、4月以降の感染者数減少傾向を踏まえて、8～9月に対面形式で開催することを計画したが、「第7波」に伴って新規感染者数が急増したため、開催を断念した。

17 関係団体活動

(1) 一般社団法人日本環境測定分析協会中部支部

次の事業を、中部支部と共催で実施（一部の研修会は中部支部から受託）した。

ア 共同実験（3回：8参照）

イ 各種研修会（6参照）

(2) 石川県環境計量協会

同協会主催の「環境計量技術研修会」には例年、技術委員を講師として派遣しているが、4年度は研修会自体が中止されたため、愛環協としての対応は無かった。

(3) 愛知県計量連合会

県内計量関係団体の一員として、業務の連絡をした。

(4) 中部環境計量士会と連携・協調した。

第2号議案 令和4年度収支決算について

貸 借 対 照 表

(令和5年3月31日現在)

単位:円

科 目	当年度(a)	前年度(b)	差 異(a－b)
I 資産の部			
1. 流動資産			
普通預金	3,673,973	3,113,451	560,522
振替口座預金	0	0	0
定期預金	953,000	943,000	10,000
前払費用	0	340,000	
流動資産合計	4,626,973	4,396,451	230,522
2. 固定資産			
電話加入権	72,000	72,000	0
商標登録権	40,000	40,000	0
固定資産計	112,000	112,000	0
資産合計	4,738,973	4,508,451	230,522
II 負債の部			
1. 流動負債			
預り金	13,941	12,180	1,761
前受金	0	0	0
流動負債計	13,941	12,180	1,761
2. 固定負債			
退職給与引当金	953,000	943,000	10,000
固定負債計	953,000	943,000	10,000
負債合計	966,941	955,180	11,761
III 正味財産の部			
一般正味財産			
正味財産合計	3,772,032	3,553,271	218,761
負債及び正味財産合計	4,738,973	4,508,451	230,522

正味財産増減計算書

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

単位:円

科 目	当年度(a)	前年度(b)	差 異(a-b)
I 一般正味財産の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 受取入会金			
受取入会金	0	0	0
② 受取会費			
受取会費(正会員)	7,680,000	7,800,000	△ 120,000
受入会費(賛助会員)	900,000	850,000	50,000
③ 事業収益			
研修会等収入	702,000	757,000	△ 55,000
クロスチェック参加料	1,056,000	816,000	240,000
ガスメーター自主検査料	418,000	484,000	△ 66,000
その他の事業収入	392,380	394,900	△ 2,520
日環協中部支部委託事業収入	582,000	580,000	2,000
雑収入	250,067	250,062	5
経常収益計	11,980,447	11,931,962	48,485
(2) 経常費用			
① 事業費			
委員会費	126,600	95,485	31,115
研修会等費	1,156,324	884,925	271,399
クロスチェック費	258,735	219,303	39,432
ガスメーター自主検査費	418,000	484,000	△ 66,000
広報活動費	1,524,265	1,587,862	△ 63,597
ブロック活動費	0	0	0
調査研究費	0	0	0
環境関係行事協賛費	55,000	55,000	0
関係団体会費・分担金	0	0	0
環境相談事業費	0	0	0
その他の事業費	53,592	96,880	△ 43,288

単位:円

科目	当年度	前年度	差異
② 一般管理費			
給与手当	3,240,000	3,240,000	0
福利厚生費	1,032,593	1,056,801	△ 24,208
事務所賃貸料	2,080,716	2,080,716	0
水道光熱費	890,173	850,402	39,771
通信運搬費	122,775	118,923	3,852
旅費交通費	18,100	25,940	△ 7,840
印刷費	38,170	50,930	△ 12,760
消耗品費	44,634	25,605	19,029
総会費	374,399	360,030	14,369
その他会議費	73,602	54,102	19,500
事務機リース料	125,024	208,783	△ 83,759
租税公課	71,002	71,000	2
退職給付費用	10,000	10,000	0
雑費	47,982	53,808	△ 5,826
経常費用計	11,761,686	11,630,495	131,191
当期経常増減額	218,761	301,467	△ 82,706
2. 経常外増減の部			
経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
経常外費用	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産	218,761	301,467	△ 82,706
一般正味財産期首残高	3,553,271	3,251,804	301,467
II 正味財産期末残高	3,772,032	3,553,271	218,761

監 査 報 告 書

一般社団法人愛知県環境測定分析協会
会 長 大 野 哲 様

私たちは、一般社団法人愛知県環境測定分析協会の令和4年度（令和4年4月1日から令和5年3月31日まで）における貸借対照表、正味財産増減計算書等の会計書類及び業務について精査し、監査を行った結果、いずれも正確かつ適正であったことを確認いたしました。

令和5年4月10日

一般社団法人愛知県環境測定分析協会

監 事 柴田金作 

監 事 金田哲夫 

第3号議案 令和5～6年度 役員の選任について

令和5～6年度の愛環協役員を次の方々をお願いしたいと存じますので、ご審議をお願いいたします。

ご承認いただけた場合は、本総会終了後直ちに理事会を開催し、理事の中から会長及び副会長を選任いたします。

役員	氏 名	所 属 事 業 所	職 名
理事	阿部 裕士	株式会社三進製作所	総合企画課・参与
理事	伊藤 諭志	東亜環境サービス株式会社	代表取締役
理事	大野 哲	株式会社イズミテック	代表取締役社長
理事	大場 恵史	株式会社東海分析化学研究所	代表取締役社長
理事	加藤 廣人	一般社団法人愛知県薬剤師会	生活科学センター所長
理事	角 信彦	株式会社愛研	代表取締役
理事	濱地 清市	株式会社ユニケミー	代表取締役社長
理事	林 辰哉	一般財団法人東海技術センター	執行理事
理事	林 昌史	株式会社環境科学研究所	代表取締役
理事	吉田 謙	株式会社テクノ中部	環境事業本部 測定分析センター 副部長
監事	金田 哲夫	株式会社環境公害センター	代表取締役社長
監事	柴田 金作	藤吉工業株式会社	執行役員
顧問	河野 達郎	一般財団法人東海技術センター	専務理事

(注) 役員ごとに五十音順 (敬称略)

第1号報告 令和5年度事業計画について

注：研修会や講演会・勉強会等は、特記したものを除いて、原則として「対面形式による開催」を検討しておりますが、今後の新型コロナウイルス感染症の状況等によっては、開催日や開催方法を変更する可能性もあります。

1 研修の開催

- (1) 環境分析技術、法令等講習会の開催
計量法改正等の説明会を開催する。

開催時期

必要に応じ随時

- (2) 環境測定分析技術者研修会の開催

ア 新任者研修会（日環協中部支部より受託：オンライン形式）

開催時期

令和5年6月22・23日

イ 精度管理研修会①【基礎統計コース】（日環協中部支部と共催：オンライン形式）

開催時期

令和5年7月28日

ウ 精度管理研修会②【中堅実務コース】（日環協中部支部より受託：オンライン形式）

開催時期

令和5年9月28・29日

エ SOP（標準作業手順書）研修会（日環協中部支部と共催：オンライン形式）

開催時期

令和6年1月30日

オ 騒音・振動分野の勉強会（日環協中部支部と共催）

（開催時期や形式等、詳細は未定）

カ 大気・臭気分野の勉強会（日環協中部支部と共催）

（開催時期や形式等、詳細は未定）

- (3) 環境計量士等研修会の開催（日環協中部支部と共催：オンライン形式）

環境計量士を対象として、環境問題に対しての認識を深め、新しい分析技術を習得する。

開催時期

令和5年11月17日

- (4) 特別企画セミナーの開催（日環協中部支部と共催）

開催時期

令和6年3月（詳細未定）

2 広報活動

- (1) 環境保全広報の実施

環境保全の必要性や重要性を県民に広報する。

- (2) 会報誌「あいかんきょう」の発行

年4回

協会事業等を会員及び関係者に広報する。

発送時に広告チラシを同封するサービスを実施する。

- (3) 情報提供

環境測定分析関係情報を、インターネット等を通じ提供する。

- (4) 環境月間講演会の開催（日環協中部支部と共催）

令和5年6月29日（予定）

(5) 「愛環協サポーターズ メールマガジン」の運営 不定期

(6) 環境関連事項についての調査

3 共同実験（クロスチェック）の実施（日環協中部支部と共催） 1 回

分析技術の精度向上のため、会員以外の者も対象として実施する。

また、共同実験参加者による結果検討会を開催する。

第1回 水質関係の測定分析

令和5年8月（予定）

なお、令和4年度第3回共同実験（振動測定（周波数分析）及び解析）の結果検討会を令和5年5月30日に開催する予定。

4 施設見学会の実施

会員の環境に対する幅広い視野と知識を涵養するために実施する。

5 環境相談窓口

県民からの測定分析その他環境に関する問合せに対応する。

6 関係行政機関行事への協力

(1) 愛知県環境局等の防災訓練に協力連携し、協定に基づく訓練を実施する。

(2) 愛知県環境局と「もりの学舎自然学校」が協力して「モリコロパーク」で行う自然とのふれあい事業（5月6日に開催予定）に協賛する。

(3) 5月28日に開催予定の「高校生ものづくりコンテスト（化学分析競技）」愛知大会に協力（試料調製、表彰状作成）する。

7 測定済証の発行

定期測定分析事業所に対し測定済証を貼付することにより測定済証の実施の履行を図る。

8 ガスメーター自主検査事業の実施 2 回

9 愛環協ホームページのリニューアル、運営 随時更新

10 計量証明書「承認様式」の認証 随時

11 正会員従業員表彰

環境測定分析業務に7年以上勤続の正会員従業員を表彰する。

12 喚起標語の募集と表彰 令和5年12月（募集）

環境計量に関する喚起標語を募集し、優秀作品は定時社員総会において表彰する。

13 景況調査の実施 令和6年2月

正会員に対して景況調査を実施する。

1 4 ブロック会議の開催

2 回

理事会審議事項の伝達、会員相互の情報交換及び親睦等のため、各ブロック毎又は合同で会議を開催する。

1 5 関係団体との連携協調

- (1) (一社) 日本環境測定分析協会、同中部支部と研修や共同実験、セミナー等を共催で実施するとともに、「第 30 回日環協・環境セミナー全国大会 in ふじのくに」(令和 5 年 10 月 19・20 日に静岡市で開催)の準備・運営に協力するなど、連携協調を図る。
- (2) 「災害時相互支援協定」を締結している 7 県単※の意見交換会に参加する(大阪府で開催予定、開催時期は未定)。

※ (一社) 福島県環境測定・放射能計測協会、(一社) 埼玉県環境計量協議会、(一社) 神奈川県環境計量協議会、横浜市環境技術協議会、大阪環境測定分析事業者協会、堺市環境計量協議会及び(一社) 愛知県環境測定分析協会

- (3) (一社) 愛知県計量連合会、中部環境計量士会と連携協調を図る。

第2号報告 令和5年度収支予算について

令和5年度収支予算 (令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

単位:円

科 目	令和5年度予算(a)	令和4年度予算(b)	差 異(a-b)
I 一般正味財産の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 受取入会金			
受取入会金	0	0	0
② 受取会費			
受取会費(正会員)	7,560,000	7,680,000	△ 120,000
受取会費(賛助会員)	950,000	900,000	50,000
③ 事業収益			
研修会等収入	800,000	1,200,000	△ 400,000
クロスチェック参加料	900,000	900,000	0
ガスメーター自主検査料	440,000	440,000	0
その他の事業収入	400,000	400,000	0
日環協中部支部委託事業収入	600,000	600,000	0
雑収入	250,000	250,000	0
経常収益 計	11,900,000	12,370,000	△ 470,000
(2) 経常費用			
① 事業費			
委員会費	250,000	250,000	0
研修会等費	900,000	1,650,000	△ 750,000
クロスチェック費	220,000	220,000	0
ガスメーター自主検査費	440,000	440,000	0
広報活動費	1,500,000	1,460,000	40,000
ブロック活動費	315,000	320,000	△ 5,000
調査研究費	0	0	0
環境関係行事協賛費	55,000	55,000	0
関係団体会費・分担金	0	0	0
環境相談事業費	5,000	5,000	0
その他の事業費	90,000	90,000	0
事業費 計	3,775,000	4,490,000	△ 715,000

単位:円

科 目	令和5年度予算(a)	令和4年度予算(b)	差異(a－b)
② 一般管理費			
給与手当	3,240,000	3,240,000	0
福利厚生費	1,050,000	1,000,000	50,000
事務所賃貸料	2,090,000	2,090,000	0
水道光熱費	900,000	850,000	50,000
通信運搬費	130,000	130,000	0
旅費交通費	60,000	60,000	0
印刷費	60,000	50,000	10,000
消耗品費	40,000	40,000	0
総会費	380,000	360,000	20,000
その他会議費	70,000	70,000	0
事務機リース料	200,000	200,000	0
租税公課	70,000	70,000	0
退職給付費用	10,000	10,000	0
雑費	50,000	50,000	0
一般管理費 計	8,350,000	8,220,000	130,000
経常費用計	12,125,000	12,710,000	△ 585,000
当期経常増減額	△ 225,000	△ 340,000	115,000
2. 経常外増減の部			
経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
経常外費用	0	0	0
予備費	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産	△ 225,000	△ 340,000	115,000
一般正味財産期首残高	3,772,032	3,553,271	218,761
Ⅱ 正味財産期末残高	3,547,032	3,213,271	333,761

科目間の流用を認める

第3号報告 愛環協の組織体制の見直しについて

愛環協の設立（昭和52年＝1977年）当時に比べ、大気質や水質等の環境改善が進むとともに、地球温暖化などの新たな環境問題が顕在化するなど、愛環協を取り巻く社会情勢も変わってきています。

愛環協では、このような変化に伴う様々なニーズに的確に応えられるよう、活動内容や組織体制の見直しに努めてきたところです。

こうした中、近年は計量証明事業からの撤退等を理由とした退会により、会員数が減少傾向にあることから、愛環協の活動内容の合理化や組織のスリム化等、更なる見直しが必要と考えられます。

以上を踏まえ、令和5年3月16日に開催された令和4年度第5回理事会において、①委員会の再編及び②ブロックの再編を行うことが承認されました。

① 委員会の再編

「企画・対外交流委員会」と「広報・ホームページ委員会」を統合し、新たに「企画・広報委員会」を設置します。

令和4年度	令和5年度
総務委員会 （林 辰哉）	総務委員会 （林 辰哉）
企画・対外交流委員会 （角 信彦）	企画・広報委員会 【統合】 （角 信彦）
広報・ホームページ委員会 （濱地 清市）	
教育研修委員会 （佐藤 博）	教育研修委員会 （濱地 清市）
技術委員会 （土屋 忍）	技術委員会 （伊藤 諭志）
災害緊急時対応委員会 （林 昌史）	災害緊急時対応委員会 （林 昌史）

注：（ ）内は、委員長です（敬称略）。令和5年度の委員長は、令和5年度第1回理事会（4月28日開催）において承認された方々です。

② ブロックの再編

会員数の少ない第3ブロックと第4ブロックを統合するとともに、ブロックの名称を変更します。

令和4年度	令和5年度
第1ブロック (糸魚川 広)	<u>尾張第1ブロック</u> (吉田 謙)
第2ブロック (林 昌史)	<u>尾張第2ブロック</u> (林 昌史)
第3ブロック (林 辰哉)	<u>尾張第3ブロック</u> 【統 合】 (阿部 裕士)
第4ブロック (阿部 裕士)	
第5ブロック (大場 恵史)	<u>三河第1ブロック</u> (大場 恵史)

注1：()内は、ブロック長（敬称略）です。

注2：令和4年度のブロック区分は以下のとおりです。

また、末尾の()内は各ブロックにおける会員数（4年度末）です。

第1＝名古屋市熱田区、中川区、港区及び南区（11社）

第2＝名古屋市北区、西区、中区、中村区及び守山区（18社）

第3＝名古屋市千種区、東区、昭和区、瑞穂区、緑区、名東区及び天白区（9社）

第4＝名古屋市を除く尾張地区（11社）

第5＝三河地区（15社）